

# (一般社団法人) 大学女性協会仙台支部便り



## 「け や き」 No. 14

平成30年3月25日発行

### 公開講演会

江戸の恋愛事件 ～『西鶴諸国はなし』 巻四の二「忍び扇の長歌」を読む  
～

講師：深澤 昌夫 氏 (宮城学院女子大学学芸学部日本文学科教授)

若菜 令子

今回は、身分違い故に命がけの「駆け落ち」事件に発展した、姫の恋物語です。花見帰りの一行に遭遇した男が姫の虜となり、屋敷奉公するうちに、その想いを知った姫が恋心を募らせ、扇に長歌を書き、「私を連れて逃げて」と訴え、その夜駆け落ちするが、半年後捕まり、男は即日成敗、姫は不義の咎で自害を迫られる。が「身の上に不義無し～」と仏道に入るお話。純愛物語を読んだ様な感動を覚えました。生を受け一人の男を持つは作法、身分の低い者を思ってもこれ縁の道、夫ある女が外に男を思い、又は死別後夫を求むることこそ不義～と開き直る当り小気味良く、男性中心の掟に縛られた世で何かが変わりつつある、人の心を揺さぶる力を感じました。次回が楽しみです。



10月13日(金) / エル・パーク仙台 セミナーホール

参加者：61名

共催：公益社団法人せんだい男女共同参画財団

## 特別展 伊達政宗 ― 生誕 450 年記念 鑑賞会

11月1日（水）／仙台市博物館・ホール 参加者：20名  
学芸員の方より見どころ等のお話を頂き、その後各自展覧会を鑑賞致しました。

### 学ぶ意欲に支えられて（交流会の記録）

中屋 紀子

第2回の交流会は11月29日エル・ソーラ研修室で開かれました。窓からは仙台の北・西側が遠くまでよく見え、まさに塔の上気分でした。

話題提供予定者の菊地昌枝さんが腰痛のため急遽欠席というので、お二人にピンチヒッターをお願いして会を持ちました。

支部長の松山寿美子さんが急病で来られなくなったと、松山裕美子会員からのお話でした。新会員の浦田麻弥さんが参加してくださいました。12名の参加者でした。

お二人からのお話を伺った後、お弁当を食べながら懇談をしました。

以下、お話の概略を紹介します。



#### 長田 かつよさん

78歳になりました。夫に去年、逝かれてしまいました。

5歳の年に戦争で父を亡くしました。母が25歳でした。叔父が母と結婚してくれて、私を育ててくれました。そのうち弟と妹が生まれて、兄弟ができました。その父も私が中1の時に海難事故で亡くなりました。

私が進学できたのは9月に祖父が亡くなったので、高校進学がかなったのです。私は唐桑高校の定時制に通って、看護師さんの見習いをして高校に行こうと思っていたのです。助けてくださる方がいらして、昼間に行くことができたのです。そして、義務教育の教員になれば、4年借りたら8年勤めれば返済義務がないという（奨学金を借りて）ので東北大学の教育学部に入ったのです。

教員を終えてから、特養老人ホーム施設長の資格を公費で取らせていただいて務めてきました。その後、退職公務員女性部の仕事につきました。後輩のために何とか役立ちたいと

思ったのです。実は、断る勇気がなかったのですが・・・。

この間、楽しんで取り組んできたカルタにすっかり魅了されてしまいました。今は退職公務員女性部にもカルタの会を作り、中田市民センターでもカルタの会を作りました。そして、毎週水曜日午後、小学校の子どもたちとカルタを楽しんでいるのです。

## 中村 陽子さん

私の小学校時代は九州博多の近くで過ごしました。

大学進学は祖母が亡くなったので、母から「好きにしてもいいよ」と言われていて進学ができました。父は教職についていて、弟もいたので、公立の学校を目指そうとしていましたが、「友達にも恵まれるし、自由にも恵まれるから、私の出た学校へ」と母に押し切られてしまいました。(日本女子大学)

野見山フジさんが母の学生時代の寮母さんでした。私もお世話になりました。学生時代にはフィリッピンの子学生を日本に呼ぶ活動に参加したりしました。その頃です。俳句とボランティアをするように、と教えられたのは…。

東日本大震災句集『私の一句』(宮城県俳句協会)に、一つだけ載せてもらいました

たましず

魂 鎮め けあらしも また 海育て 中村 葉

最近「中世を読む会」で、日本語の勉強をしています。中国から東北大学にきている留学生も加わって『平家物語』(2巡目)を読んだりしています。

## 菅原 充子さんを偲んで

渋谷 由美子

突然の悲報に皆さん驚かれ、また本当に信じられなかったことと思います。誰にも明かすことなく、御家族の皆さんと、長いこと病魔と闘っていらしたようです。12月19日に、お別れの会が行われました。

充子さんの今までの写真がたくさん映し出され、若い時の美しいお姿に、また歳を重ねられて品がありお若くて、まだ早すぎるでしょう、と涙が止まりませんでした。ご主人と一生懸命に学校経営をなさり、まだやりたいことがたくさんあったのではと思うと、悔しい気持ちでいっぱいです。

菅原学園は幼稚園も経営なさっていました。その一つに鶴が丘幼稚園があり、私の弟子がその卒園生でした。その彼が成長し仙台でデビューした時も、その後コンクールに入賞した後の仙台フィルとの演奏会にも、充子さんはいつも駆けつけてくださいました。客席で

ひっそりと、しかし嬉しそうに温かい拍手送ってくださいました。

充子さんは幼稚園で週に一度、園児たちにお茶を教えていらしたそうです。園児たちは充子さんの事を、お茶の先生と置いていたらしく、お茶の充子先生と呼んでいたそうです。幼稚園にはきちんとした茶室があり、そこでお茶を教わったそうで、誰も騒ぐことなく、礼儀作法を教わったそうです。彼はお茶の時間は全く苦痛ではなく、今ではあの時に日本の文化を教えていただき、とても感謝していると言ってくれました。

子供たちは感謝していますよ、充子先生。

いつまでも見守ってください。

**\* 今後の予定 \***

**平成30年度 仙台支部総会**

日時：4月25日（水） 10：30～

場所：エル・パーク仙台 特別会議室

仙台支部便り「けやき」No. 14

2018年3月23日 発行

発行 （一社）大学女性協会仙台支部

〒981-3205 仙台市泉区紫山 1-26-1 松山 寿美子 方

## (一般社団法人) 大学女性協会仙台支部便り



### 「け や き」 No. 15

平成30年6月10日発行

#### <2018年度新支部長挨拶>

70年のふしめの支部長をお引き受けして

渋谷 由美子

歳を重ねると時の流れが速くなると申しますが、本当に速いものであつという間に今年の春も終わってしまいます。

皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか？

今年度から2年間支部長という役をすることになりました。

震災後全国総会を仙台で行った時に支部長でしたので、当分はないと思っていましたが、松山寿美子さんの後に急遽引き受けることになりました。

また皆様のおかげで、新しい方々が会員になってくださいました。

今年、大学女性協会も創立70年を迎えます。

仙台支部はこの会が創立された翌年に出来たという事なので、今年仙台支部も70周年を迎えます。

10年ごとの区切りとして何か？と考えていますが、どうぞ皆様のお力をお借りして、記念になるものかと考えていますので、アイデアなどお知恵をお借りしたいと思っております。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

#### <仙台支部総会報告>

相澤 富美江

4月25日(水)、エル・パーク仙台の特別会議室で、2018年度仙台支部総会が行われました。出席者14名、委任状13名で、総会は成立致しました。2017年度事業報告、収支決算、2018年度事業計画案、予算案、全て承認されました。事業計画のところでは、中屋紀子さんから、今年度は支部創立70周年なので記念誌を作成しては、との提案があり、役員会で考えていくこととなりました。今回の総会では新役員の選出も行わ

れ、新支部長に渋谷由美子さんが選出され、氏家薫さんに監査としてあらたに役員に加わって頂きました。谷地森涼子さんに引き続き顧問を、チャイルドファンド経由の奨学金担当の特別委員を松山寿美子さんをお願いすることとなりました。役員紹介では、氏家さんから、お母様の藤崎千代子さんがこの会で一生懸命活動されていたこと、この会



には是非入ってほしいとおっしゃられていたこと等のお話を伺いました。総会后、昼食・懇談、閉会となりました。

<総会後の昼食のようす>

## <桃の会の報告>

### 「写真屋に嫁いで」：小関和子さんのお話

中屋 紀子

今年はとても寒くて、新年会を避けて、桃の会を開催することにしました。

3月とは思えないような温かさの3月14日、午前11:30～「飛天」を会場にして開催しました。16名の参加です。

会員の小関和子さんからのお話の概略は以下です。

私は1964年5月、宮城学院女子大学を卒業してすぐに、大武写真館の四代目に嫁ぎました。結婚して今年で54年になります。大武写真館は創業が明治34年、仙台で一番古い写真館です。

結婚まで、デートに誘われたりなど楽しい思いしかなかったのですが、新婚旅行から帰った日の食事作りから私の修業が始まりました。わが嫁ぎ先では当時、地方の写真屋さんの息子さんたち5・6人が常に修業（4～5年）に来ていました。義父（三代目）が名人と言われる人だったので、それに憧れてきていたのです。その住み込みのお弟子さ

んたちの一切の世話をするのが嫁の私の仕事なので、丁度相撲部屋のおかみみたいなものでした。

大武写真館では「家族の肖像に写し込まれるのは、きっと家族の絆、それは我が家の歴史を物語る一枚になるはずです。家族が、いつまでも家族であることを希求する写真。それこそが写真館で撮れる写真の一枚です。・・・」という考えで長年写真を撮ってきました。「品がいい」とお客様からほめていただき、見合い写真を撮ると売れ行きがよいとということで、とても繁盛していました。

私は3人の子に恵まれて、おんぶしながら毎年繰り返される入門式、修業式、日曜日の大安吉日には花嫁ラッシュ、大人数の食事、弁当作り、夜になると会計簿つけと、多忙を極めました。美容師だった義母から着付けを教わり、任せられるようになりました。着付けができ上ったら、すぐに写真を撮れるのでいい塩梅でした。

長男は、岐阜の老舗写真館で3年間修業をして、夫を助けてくれるようになりました。しかし、1984年ごろ、義父は寝たきりになり、義母は認知症、介護と写真屋の仕事があり、その頃が一番つらかったです。1994年父が87歳で亡くなり、翌年、母が89歳で亡くなって、1996年、一番町にあった写真館を泉崎へと移し、建築家のデザインでユニークな建物ができ上がったのです。

2011年1月に夫が肝臓がんの手術をし、その後、2011年3月11日の震災で、スタジオ内がすっかり壊れました。修業を終えて帰ってきた息子が頑張っ、証明写真用のスタジオを作り、復旧を果たしてきました。

私は夫のおかげで、写真屋の楽しさ、嬉しさ、喜びもともに味わうことができ、現在があります。夫は、今はすっかり引退して「時々、お客様の写真を写している夢を見る」と言っていますが、「ママと一緒に歩いてきて感謝している。いい人生だった。」と言い、私も今、自由で幸せだとおもいます。

泉崎に作ったスタジオは茂泉会員のお兄様の設計、長男は愛知会員のご息子の友人で、何度愛知家のご飯をご馳走になったことかと、それも紹介されました。

大武写真館でお見合い写真を撮った松山支部長、結婚写真を撮った谷地森顧問、ひ孫の七五三の写真を撮った飯岡会員、演奏会用写真を撮る渋谷副支部長と、大いに盛り上がりました。

食事に入る前に松山裕美子さんから療養中の松山寿美子支部長のリハビリの様子をお聞かせいただきました。はじめ、重篤だったのですが、徐々に回復され、今日の会へも「参加できるかしら」と、言われるほどに回復されたとのこと。

「3ヶ所、骨が折れているのよ」とおっしゃられながらマジックを紹介して下さった菊池昌枝会員です。菊地さんたちのマジックを見てすっかりリラックスしていい笑顔をしている子どもたちや老人たち



の写真も紹介してくださいました。

飛天のおいしい中華ランチを頂いて、散会しました。

### <新入会員の紹介>

新入会員の紹介を簡単ですが、以下にいたしました。

長井祥子先生は、現在宮城学院の同窓会長をされております。  
先生は、豊富なご経験に基づいた素晴らしいお人柄をお持ちで、同窓会の皆様から深く尊敬されております。  
私も娘も、先生のご指導に深く感銘し、心からお慕い申し上げている次第です。  
この度、長井先生が大学女性協会仙台支部の会員になってくださったことを本当に嬉しく思っております。

松山 寿美子

浦田摩耶さんとは、宮城学院の生涯学習の授業で一緒させていただきました。  
昨年の秋の深澤先生の講演会の際に、ご入会のご希望をいただきました。  
明るく、積極的な方ですので、大学女性協会仙台支部の良きメンバーになっていただけるものと期待いたしております。

松山 寿美子

### \* 今後の予定 \*

#### 平成30年度 第1回交流会

日時：7月13日（水） 11：00～

場所：エル・パーク仙台 特別会議室

仙台支部便り「けやき」No. 15

2018年6月10日 発行

発行 （一社）大学女性協会仙台支部

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘 1-10-11 渋谷 由美子 方